

令和3年度 東山田地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

東山田地区：世帯数は増加傾向にあるものの人口としてはやや減少傾向にある。15歳未満の割合は都筑区の平均を下回っており65歳以上の割合は区の平均を上回っている。町内会自治会活動が盛んで「ちょっと立ち寄れる場」の運営など顔の見える関係づくり・支えあう地域づくりを進めている。第4期地域福祉保健計画では「防災」について取り上げており、その取り組みにより、これまで気づき上げてきた「つながり」がさらに強化されるものと思われる。
 山田地区：平均年齢が41.7歳と区の平均を下回ってはいるものの65歳以上の割合は増加傾向にある。また15歳未満の割合も減少傾向にある。山田地区社会福祉協議会を中心にボランティア団体との交流等を実施し地域の課題解決に努めている。活動の継続により新たな顔も見える関係が築かれていくと思われる。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「おさんぽカフェ」を通して障害理解を深め、顔の見える関係づくりをすすめる。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	東山田地域ケアプラザエリア連絡会を開催し、地域の情報や課題について介護保険事業所や薬局等と共有を図る。 1回以上／年
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の高齢者が集う活動の場として、介護予防普及強化事業を実施する。(年2事業)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・地域に関する情報を都度更新して、ケアプラザ内で共有を図る。(1回以上／年) ・Ayamuのケアプラザ内での活用検討、地域への周知を実施する。(随時)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・チャコ村でのハーブを育てる居場所作りを今年度始めるため、学校の専任の先生との連携、情報共有等行い、参加できそうな子に知らせていく。 ・アーモンドで行っている不登校支援について情報共有しながら、居場所作りを広げていけるようなニーズ調査を行っていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント